

「Scene北海道特別企画」 北の魅力発信人

「フォトグラフィアーシーン」

「Scene北海道」の誌面を彩る魅力や想いを撮った写真の数々。いつも素晴らしい作品を届けてくださる投稿者様の「思い」や「こだわり」をご紹介します。



一期一会を痛感。人生を豊かにしてくれた宝。

永井 和子（旭川市）

夫婦で趣味の楽しみ方を共有

想い出として残せる写真は大事な宝であるといったルーツは、子供の成長や旅行の記録からスタートしております。十数年前にフラワーガーデンのコンクールで旭川市の大賞を頂いたことから、ブログにてお花の情報を発信してまいりました。でも、一眼で撮っている方との違いに気が付き、念願の一眼レフカメラと標準&マクロレンズを平成20年に購入しました。

1年程、上手くコツが掴めずにはいました時に、年配の方が「写真は腕では無く脚です。」と意外なお言葉に考えさせられました。「成る程！」「足腰が元気な時に広大な北海道の風景を撮っておきなさい。」という事です。

まずは、有名な美瑛や富良野で連日撮影。プロの方もいて学ぶ事ばかりでした。5年程経った時に節目と思い、風景写真の個展を若輩ながら開催しました。観に来て頂いた方達からお褒めの言葉やアドバイスを頂きました事が、その後の撮影活動で自信に繋がって行きました。

旭川近郊は、道の最高峰である大雪山旭岳連峰が見渡せ、道の一番長い石狩川の恵みにも感謝をする自分に変わって行きました。



石狩川に架かる永山橋(9月 旭川市)



山焼けと白髭の滝(12月 美瑛町 白金)



噴水と旭橋(5月 旭川市)



石狩川の夜景(5月 旭川市)



摩周湖(8月 弟子屈町)



一本松(2月 別海町)



老木桜(5月 東川町)



旭岳から 御田の原(9月 東川町)



林檎の花(5月 自宅庭)



雪舞う富良野岳(2月 富良野町)

〈魅力発信人〉一問一答

Q 写真、カメラとの出会い、また始めたきっかけ、カメラ歴は？

A 旭川市からガーデンの発信と思い、パソコンでブログを立ち上げました。でも一眼レフで発信されている方との違いにショックを受け購入を決断しました。夢の一眼レフを手にして丁度10年目に成ります。

Q カメラをやっていて良かった事。一番感動した事は？

A 生活の一部に成っており、家族が協力をしてくれる事です。写真を通して多くの方達との出会いが日々感動で人生観も変わりました。

Q 得意な被写体は？また、撮影でのワンポイントがあれば教えてください。

A 風景が好きですが、何かピンと来た出会いがあればお花や小動物も写します。撮影では、ピントは勿論ですが、シャッターを切る前に水平と四隅の確認をします。

Q 撮影時にいつも心掛けている、又は気を付けている事は？

A 撮影時は、感動のシーンに呑まれない様に落ち着いて深呼吸をします。又、自然保護や環境に目を向けています。

Q あなたにとって写真を観る時のポイントは？

A 立ち位置、辺りの状況等を想像して自分だったらと考えると良い所を吸収します。

Q あなたにとって、カメラや写真の魅力とは？

A 自己表現でも有りますが、伝えたい事が二目瞭然で、レンズを通して又別な世界に成って見えることが魅力です。

Q あなたにとって、カメラまたは写真とは？

A 人生を豊かにしてくれたツールで有り、人生の足跡でも有ります。私にとって写真は宝です。

Q Scene北海道の読者の皆様へメッセージをお願いします。

A 北海道は、広い道と言われておりますが誠にその通りと、投稿されている皆様の写真を拝見して思います。行動力や発信の意欲にも敬意を御座います。